

山口ゆだ・かべり

かべり (kaveri)とはフィンランド語で「なかま」「ともだち」という意味です。

生きる力（自尊感情と自己有用感の醸成）を育む!!

～福祉と教育・市民と行政の協働と連携による

地域の子育て支援・家庭教育支援の充実を図ります～

家庭教育支援チーム「山口ゆだ・かべり」は、白狐が毎夜温泉に浸かっていたところをお寺のお師匠さんが発見し、田んぼの中から金色のお地藏さまや源泉が湧き出したことから「湯田」ゆだと名付けられた由来を持つ地域の中学校と地域子育て支援拠点「子育て支援交流広場ちゃ☆ちゃ☆ちゃ」が連携し実施している「湯田中学校ひろば」から生まれました。

学校の空き曜日教室や地域交流センターの空き曜日スペースに、居心地のいい家庭的な居場所（環境）を定期的に設置し、子育て中の乳幼児親子や中学生・小学生・保護者・地域のみなさんが気軽に立ち寄りかわり合える、世代を超えた交流の場となっています。

子育てを共有し赤ちゃんからお年寄りまで家族のように過ごせるこの場ではみんながおともだち（なかま）です。

世代が混ざり合う中で、子育ての悩みや相談も自然に話し合え、育児不安やストレスの軽減にも繋がっています。

おとなも子どもも、みんなが育ち、育て合い、学び合える関係性が自然に生まれ、家庭教育を支え合えるような地域の温かいゆりかごのような居場所（環境）づくりを目指しています。

家庭教育支援チーム「山口ゆだ・かべり」

☆子育て支援グループママキューピット

☆子育て支援交流広場ちゃ☆ちゃ☆ちゃ

（地域子育て支援拠点）

☆湯田中学校

☆湯田小学校

☆湯田地域交流センター

構成

家庭教育アドバイザー

地域協育ネットコーディネーター

地域子育て支援員

地域子育て支援士

地域子育て支援コーディネーター

利用者支援専門員

大学教授

教師

保育者

保健師

看護師

保護者（未就園児・幼保認定こども園・小学中学高校生）

大学生

母子推進員



湯田地域の子育て支援ネット



湯田中学校ひろば相関図



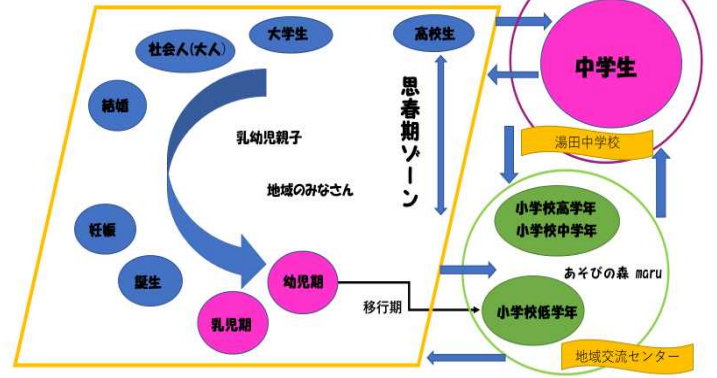
【お母さんの感想】

- ・中学生がよく遊んでくれ、中学校をとても身近に感じました。また、男子生徒が多く関わってくれたことが印象的でした。
- ・「湯田中ひろば」に集まるお母さんや「ちゃ ちゃ ちゃ」の先生、学校の先生方がとても話しやすく、私のリフレッシュの場にもなっています。
- ・親の視点からは、このような学校の環境の中で学んでいるのだと知る機会になり、今後の参考になります。次回も利用させていただきます。

【生徒の感想】

- ・普段、赤ちゃんと関わる機会がなく、昼休みや休み時間に赤ちゃんと関わる事ができるので、とても充実した時間を過ごす事ができています。
- ・赤ちゃんとふれあうことが楽しくて、星からも授業を頑張ろうという気持ちになります。

地域の居場所



湯田中学校ひろば ☆ 毎週水曜日 AM10:00～PM15:00 ☆

(視聴覚教室にできた小さなコミュニティ)

10:00～11:30 フリータイム お子さんと自由に遊べます

* 地域の方や教師による地域子育て支援講座 毎月1回

11:30～12:30 昼食タイム・Caféタイム

12:30～13:00 フリータイム お子さんと自由に遊べます

13:30～13:30 中学生と乳幼児親子とのふれあい

13:30～15:00 フリータイム お子さんと自由に遊べます

～子育てに関する悩みや相談は随時受け付けております～

連絡先：子育て支援交流広場 ちゃ☆ちゃ☆ちゃ

(TEL) 0 8 3 (9 2 2) 4 3 2 5 (代表・佐藤)

あそびの森 maru あそびの創造

湯田小学校児童全学年対象 (参加児童は会員制)

毎月第2・第4水曜日 放課後14時40分～16時45分 地域のみなさんと子どもたちの「ふれあいひろば」

森カフェ・maruトーク

持ち寄りのMytegグッズでお茶を飲みながら保護者のみなさんを中心に集まった方々でもtalk・交流の場 (あそびの森maru 開催時間)

自主的な学習活動

さまざまな体験から学ぶ意欲を育みます

主体的なあそびの創造活動・・・作る・創る・造る・つくる・自分を表現する
作る・描く・表現するなどの文化活動や自然の中で身体を動かしてあそび
野外あそびを通して子どもたちが主体的にあそびを発想し創造する力を
培います

食育体験や交流活動

地域の方や専門家の方のおやつ作りによる食育体験や多世代交流・グ
ローバル体験交流で人間関係づくりやコミュニケーション能力を養います

湯田地域交流センター

大学の留学生とのふれあい



あそびのテーマはシャボン玉



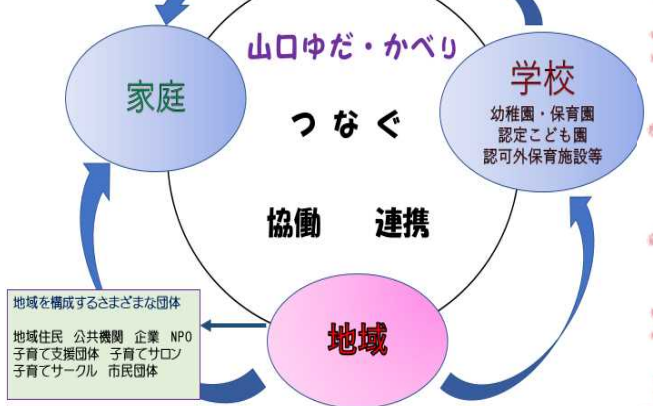
自分たちで考えたレシピでおやつ作り



みんなでクリスマスパーティの話し合い



地域にある家庭教育支援活動の場 (居心地のいい空間)



湯田地域 子どもの居場所作り (子どもたちの楽しい遊びを支える) あそびの創造 (五感を使って四季の自然やあそびを楽しもう!!)

子どもは遊びの天才だといわれていますが現代社会では子どもたちが安心して遊べる環境がなくなっており、子どもたちが主体的に遊ぶ力=あそび力(あそびりよく)が低下現象にあります。

特に幼少期の「あそび」は人が人となるための人格形成や人間形成、大人になっても生涯必要とされる生きる力や大人になるためのさまざまなステップを乗り越えていくための土台となる自己肯定感(自分を信じる力・自分を大切に思う気持ち・自分を好きだと感じる心)の基となる自分自身でいいんだと思える自信を育みます。

そこで、子どもたちが安心して遊ぶことができる楽しい居場所を地域の中に仕組みとして築き、地域の子もたちが安心して遊ぶために私たち地域にかかれる大人が子どもたちとあそぶことを大切にしたいです。

湯田地域の子どもたちの育ちを私たち地域の大人みんなで見守り育てていきたいと思いますか?

概要:

子どもたちが主体的にあそびを発想する力を培っていきけるように、私たち大人は彼らのあそびを創造する力のサポート役(手助け・助っ人)であること。

指導的・抑圧的ではなく子どもの遊びの世界の住人であること。

子どもたちの力を信じ、子どもたちが喜んで話し合いながら子どもたち自身で自分たちの楽しい居場所(あうち)を創り上げていくことを大人が提案や対話をもってお手伝いをしていくイメージ。